

## 探究 英語ポスターセッション

先の見通しが立たないまま、3年生は発表ができるものとして、自宅学習期間中に準備を進めてきました。まだまだ不安もあるので、入場者を制限して、「三密」を避けつつ、発表会を実施しました。



### Topics

Change Students, Change Our Community: Empowering young students to assist people with disabilities
Do you Conform to Your Peers?: To Recreate a Real Situation in which Conformity Occurs
Let's Exercise While Listening to Music: Can Our Favorite Music Reduce the Rate of Perceived Exertion?
Which Marker Makes You a Better Worker?: The Best Color for Memorization
You Can Rule the Next Game: Tips to Service a Volleyball
An Advancement in Plastic Bottle Rocket Technology: A Two-Stage plastic Bottle Rocket
"Uchimizu" Project: Saving the Earth Using Recycled Domestic Wastewater
Pulling Out Ethanol: A Proposal for a new way to separate water and ethanol
Can Wire Nets Stop Landslides?
Preventing Home Invasion: Unraveling the Mystery of Cockroaches' Food Preferences
Evacuation Simulator: Using 3-D Modeling

### Advisers

Mr. Sean Rawlinson	(Nagata SHS)
Mr. Ivan Armstrong	(Awaji-Mihara SHS)
Mr. Daniel Oriordan	(Kakogawa-Higashi SHS)
Mr. David Talberg	(Nishinomiya-Kabutoyama SHS)



## Reflections

自分たちで実験して得たものを聴衆に伝えたいと思って発表できました。発表の前はとても緊張しましたが、始まってしまえばある程度は落ち着いて話せたし、楽しめました。発表後には、発表の中で効果的に聴衆に内容を伝えられる工夫がもっとできただろうなと思いました。時間の関係で伝えられなかったところは質問してもらいたいと思っていましたが、あまり質問をされなくて、残念に思ったのでできるだけ伝えたい内容は時間内に伝えられるように原稿の工夫などしたいと思います。(H)

発表全体としてはそれなりに想定通りにできたかなと思います。改善点を挙げるなら、Q&Aに質問に対する答えそのものだけでなく、もうちょっと追加で内容をつけて答えられたらよかったというのと、英語の発音、フレーズ内での抑揚などをもっと自然にできたらなというところです。ポスターなどの資料も評価してもらえた（これは相方の成果ですが）のでそれもよかったかなと思います。原稿についてもかなりシンプルな英語にして、他学年の生徒にも多少なりとも伝わりやすくなっただけかなと思います。次回も視覚効果を有効に活用したり、発表方法もただ喋るだけではなく工夫をして、自分たちがしたことがしっかりと伝わるようなプレゼンを作りたいです。実際、この探究自体はそれほど難しい内容ではないので、ぱっと見で専門用語に見えるものや理解できそうにないように見えるものを聴衆にわかってもらえるようにしたいです。(K)

Q&Aで少し想定していなかった質問が出たが、割とうまく答えられた。ただ研究の応用法については、今までもずっと明確な答えが返せていないのでそろそろきちんとした答えを用意したい。(S)

原稿を覚えるのも大変だったが、覚えたはずが前に立つと飛んでしまうのが、なんだか悲しかった。原稿をちらちら見つつ、伝わるように意識して話せたので、自分的には良かった。次は、緊張しても飛ばないくらい読み込む。ンケートでも、聞き取りやすかったと10人くらいが書いてくれたのでよかった。1年生の時は全くと言っていいほど聞こえなかった英語がよく聞き取れるようになっていて、成長を感じた。質問に対しての準備不足があったので、次は気を付けたい。発表が終わってから個人的に声をかけてくれる人もいて、頑張ってきてよかったと思った。次は、もう最後なので、万全の準備をして臨みたい。(N)

あまりポスターを使った練習時間は取れなかったけど、自分の伝えたいことを資料を用いて、説明できた。去年までは、英語で発表して質問に答えられる想像が全くついていなかったけど、英語の質問も聞き取り、それに答えることもできて自分の成長を感じることができた。また去年よりも他の班の説明を英語で聞いても理解することができたし、今までは質問できなかったけど、研究の疑問点を見つけることが多かったと思う。(F)

今回初めて英語で発表を行って、とりあえず一言で言うなら緊張しました。まず、発表することも日本語でも緊張するし、覚えるのもしんどいけれど、その上英語でしなければいけないとか、初めて探求始めてから嫌になりました。文章を書くのもそうだし、文を抑揚とかつけて読むことも難しかったし、もちろん覚えることもしんどかったです。でも、実際に発表を終えてみてすごく緊張したけど途中からは楽しくなってきたし、何より質問の内容がきちんと理解できたことがうれしかったです。でも英語で答えたり、暗記するとかまだまだのところもあったので次は底を頑張ります。(M)

いつもに増して練習を沢山して臨んだので、本番はあまり緊張することなく、一度も原稿を見ないで止まることなく話すことができたし、何よりもしゃべっている途中に「楽しい」と感じられるほど余裕を持って話せたことは自分自身の大きな成長だったと思う。ただ、発表を構成する上で課題を沢山みつけたので、次回はそこをしっかりと修正して臨みたい。(M)

前の日本語での発表より、大きな声ではっきりと話せたと思いました。原稿をあまり覚えていませんでしたが、アイコンタクトも意識できました。でも、緊張していて、発表するとき声の抑揚をつけられなかったのが、途中で聞いている人の注目を得られているかわかりませんでした。(M)

緊張して、原稿をド忘れしたが、なんとかアドリブで持ちこたえることができた。話すスピードに関してはわずかながら早くしゃべってしまった気がする。アイコンタクト、ジェスチャーは、片手にカンベ(ほとんど使わず)を持っていたために、少し控えめにはなったものの、許容範囲内だったと思う。質問に関しては、ほとんどショーンの集中攻撃だったが、質問に対して柔軟に答えることができたと思う。来月のプレゼンテーションコンテストに向けても、いい経験になったと思う。今回いただいたアドバイスや感想をもとに、よりわかりやすいプレゼンテーションを目指して頑張りたい。(Y)

今回の発表には、自分の中で優先順位というものを初めに決めて、そのうえで準備をし、本番に挑みまし

た。僕の中で最も大切にしたことは「1, 2年生にもわかるように」です。ただかっこよく英語を話して完璧な発表をする、ということを追求し、聴衆がおざなりになることに、大きな嫌悪感があったからです。まず、原稿の英語が難しすぎて1, 2年生には全く理解できないであろうと考えたので、自らシンプルな英語に変えて発表しました。また、ポスターも徹底的に見やすさ、わかりやすさにこだわり、情報を最低限にし、遠くからでも十分にみえる大きさに作成しました。さらに、ポスター以外にも動画や経路の変更を図示したものなど、補助資料をふんだんに使い、さらにわかりやすく、を追求しました。その成果もあったのでしょうか、評価シートにはわかりやすかった、という声が多く見受けられました。自分が1年生のときは、先輩方の発表が全く理解できずにつらかった思い出があるので、これを改善することができ、自分の中ではうまくいったと思っています。しかし、質問の意図がわからずにうまく答えられない、ということが多々あったので、そこは反省点です。来月の発表も「わかりやすさ」を最優先に、質問への対策も怠らずに準備と思います。(W)

しっかり練習して英語のスピーチ史上一番うまく発表できたので自信になりました。でも、質問に対しては上手く答えることができず、日本語だったら言えたのに！！と思ったことも多かったのでプレゼンコンテストでは対策をして答えられるように練習します。他の班の発表を英語で聞くのもすごく刺激になって、楽しい時間でした。(Y)